



2026年5月19日

各 位

会 社 名 あすか製薬ホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 山口 惣大  
(コード番号 4886 東証プライム)  
問い合わせ先 グループ経営企画部長 市川 学  
(TEL. 03-5484-8366)

(訂正・数値データ訂正)

「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2026年5月11日に公表しました「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」について、訂正がありましたのでお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

1. 訂正理由

「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の提出後、退職給付債務の算定過程において使用した基礎データに一部不備があったことが判明いたしました。

退職給付債務の算定にあたり、割引率見直しに伴う再計算において、基礎データの確認が十分でなかったことによるものです。

これに伴い、退職給付に係る資産等の関連科目について精査を行った結果、以下のとおり修正を行うものであります。

・退職給付に係る資産	535百万円の増加
・繰延税金資産	168百万円の減少
・退職給付に係る調整累計額	366百万円の増加

本件訂正による売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益への影響はございません。

2. 訂正箇所

これらに伴う訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正後の全文を添付し、訂正した箇所には下線を付して表示しております。

以 上



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月11日

上場会社名 あすか製薬ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4886 URL <https://www.aska-pharma-hd.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 惣大  
 問合せ先責任者 (役職名) グループ経営企画部長 (氏名) 市川 学 TEL 03-5484-8366  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月24日 配当支払開始予定日 2026年6月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月19日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	71,127	10.9	5,834	9.4	5,665	10.9	5,424	6.3
2025年3月期	64,139	2.1	5,331	△18.0	5,107	△21.7	5,101	△32.4
(注) 包括利益	2026年3月期 6,575百万円 (25.9%)		2025年3月期 5,222百万円 (△35.7%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	191.12	—	8.0	5.2	8.2
2025年3月期	179.95	—	8.0	5.2	8.3
(参考) 持分法投資損益	2026年3月期 △293百万円	2025年3月期 △53百万円			

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	112,379	76,819	62.6	2,477.81
2025年3月期	104,295	71,814	62.6	2,302.61

(参考) 自己資本 2026年3月期 70,360百万円 2025年3月期 65,310百万円

(注) 当連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期に係る各種数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	6,303	△5,752	△818	10,126
2025年3月期	2,485	△6,124	△2,956	10,603

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00	1,560	30.6	2.5
2026年3月期	—	27.00	—	33.00	60.00	1,703	31.4	2.5
2027年3月期(予想)	—	32.00	—	33.00	65.00		38.4	

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 2026年3月期の期末配当につきましては、本日（2026年5月11日）公表いたしました「剰余金の配当（増配）および配当方針の変更に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	2.6	6,200	6.3	6,100	7.7	4,800	△11.5	169.11

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	28,763,199株	2025年3月期	28,763,199株
2026年3月期	367,085株	2025年3月期	399,476株
2026年3月期	28,383,610株	2025年3月期	28,347,810株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

2. 当社は、2026年5月20日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する資料につきましては、決算説明会開始までに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本的方針および当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(連結損益計算書に関する注記) .....	13
(企業結合に関する注記) .....	13
(セグメント情報等の注記) .....	14
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17
4. 補足情報 .....	18
(1) 事業会社の主力品の売上高 .....	18
(2) 臨床開発状況 .....	19
(3) [連結] 設備投資、減価償却費、研究開発費 .....	20

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度における経済環境は、国内では景気の緩やかな回復基調が続いた一方、地政学リスクの高まりや為替動向の変動に加え、資源・原材料価格の高止まりによるコスト上昇圧力等により、依然として先行き不透明な状況が続きました。また、医薬品事業においては、継続的な薬価改定等による医療費抑制政策に加え、原材料費や製造コストの上昇の影響等により、事業環境は引き続き厳しい状況にありました。このような状況下においても当社グループの事業は重点品目の伸長等により増収増益となり、「中期経営計画2025」で目標として掲げた売上高700億円、営業利益率8%、ROE8%を達成いたしました。

当連結累計期間における当社経営成績は以下のとおりであります。

	2025年3月期 (百万円)	2026年3月期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	64,139	71,127	6,988	10.9%
営業利益	5,331	5,834	502	9.4%
経常利益	5,107	5,665	557	10.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,101	5,424	323	6.3%

当連結会計年度における当社グループの売上高は前年同期から6,988百万円増加し、71,127百万円となりました。これは主に産婦人科領域の製品群等が堅調に推移した医療用医薬品事業に加えて、持分法適用会社であるベトナム製薬企業Ha Tay Pharmaceutical Joint Stock Companyを連結子会社化したこと等によるものであります。また、売上原価率が前年同期比0.9%上昇し、売上原価は36,982百万円（前年同期比4,178百万円増）となりましたが、売上高の増加により売上総利益は前年同期から2,809百万円増の34,145百万円となりました。販売費及び一般管理費は研究開発の進展による費用増等の影響から、前年同期から2,307百万円増の28,311百万円となりました。以上の結果、営業利益は前年同期から502百万円増の5,834百万円となりました。経常利益につきましては、営業外収益を740百万円、営業外費用を908百万円計上したことから5,665百万円となりました。また、特別利益として固定資産処分益を96百万円、投資有価証券売却益を1,474百万円計上する一方、特別損失として投資有価証券評価損を244百万円計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期から323百万円増の5,424百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①医薬品事業

内科、産婦人科、泌尿器科の3分野に注力している医薬品事業は薬価改定の影響を受けつつも全般的に堅調に推移しました。製品別にみると、産婦人科領域において子宮筋腫・子宮内膜症治療剤「レルミナ」が11,173百万円（前年同期比6.1%増）と伸長したほか、2022年6月から販売を開始した月経困難症治療剤「ドロエチ」が8,312百万円（同10.8%増）と前年に続き伸長しました。さらに内科領域の主力品である甲状腺ホルモン剤「チラーゼン」が8,775百万円（同8.2%増）、難吸収性リファマイシン系抗菌薬「リフキシマ」も7,883百万円（同22.1%増）と薬価のプラス改定の影響もあり、大きく伸長しました。泌尿器科領域ではLH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤「リユープロレリン」が3,880百万円（同3.1%減）となりました。

以上の結果、売上高は58,927百万円（同4.0%増）、セグメント利益は7,121百万円（同12.1%増）となりました。

#### ②アニマルヘルス事業

動物用医薬品、飼料添加物等の製品を販売しているアニマルヘルス事業においては、飼料添加物や動物用医薬品を中心に売上高は7,334百万円（前年同期比1.2%増）、セグメント利益は344百万円（同14.7%増）となりました。

#### ③海外事業

前連結会計年度において、ベトナム製薬企業であるHa Tay Pharmaceutical Joint Stock Companyを連結子会社化したことに伴い、報告セグメント「海外事業」を新たに追加しました。海外事業については、売上高は4,640百

万円、セグメント利益は108百万円となりました。

#### ④その他事業

臨床検査、医療機器等の各事業を展開しているその他事業については、売上高は225百万円（前年同期比5.2%減）、セグメント損失は13百万円（前年同期は2百万円の利益）となりました。

#### ⑤研究開発の状況

研究開発につきましては、あすか製薬株式会社が重点領域と位置付ける内科・産婦人科・泌尿器科領域を中心とした創薬研究および臨床開発を推進すると共に、導出入活動、事業提携戦略も積極的に展開しております。また、新たな創薬プラットフォームとしてイオンチャネルに対する創薬基盤技術を導入し、重点領域に加えて新領域でのアンメット・メディカル・ニーズにも挑戦してまいります。

臨床開発につきましては、避妊を適応症として開発していたLF111（ドロスピレノン）が2025年5月に承認を取得しました。この他「4. 補足情報（2）臨床開発の状況」に記載のとおり、現在6つの臨床試験を進行中であります。子宮内膜症を適応症として開発中のAKP-022（レルゴリクス配合剤）は2025年6月からPhaseⅢ試験を開始しました。また、株式会社MICINと過敏性腸症候群（IBS）治療用アプリの共同開発及び販売に関する契約を締結し、MCN-009（治療用アプリ）の検証的治験を実施しております。

開発準備段階にあるテーマとしては、多嚢胞性卵巣症候群（PCOS）を適応症としてAKP-009（ルダテロン酢酸エステル）、AKP-017（テストステロン経鼻剤）が開発準備中となっております。加えて、イオンチャネル創薬技術の導入による創薬基盤の強化、オープンイノベーション活用による創薬シーズの獲得等により複数テーマが非臨床段階にあります。

導入・提携活動においては、2025年11月に株式会社ペルセウスプロテオミクスと新規抗体医薬創出を目指し共同研究契約を締結しました。2026年2月には帝人ファーマ株式会社と婦人科疾患領域を対象とした新規低分子医薬品候補化合物の創出を目的とする共同研究契約を締結しています。2026年3月にはInsilico Medicineと女性の健康に関する新規標的探索でパートナーシップを拡大しております。

以上の取り組みから、2026年3月期の研究開発費は前年同期から29百万円増加し、7,060百万円となりました。

### （2）当期の財政状態の概況

#### （資産）

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ8,084百万円増加し、112,379百万円となりました。これは主に、無形固定資産その他が減少しましたが、投資有価証券および売掛金が増加したためであります。

#### （負債）

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,079百万円増加し、35,559百万円となりました。これは主に、買掛金が減少しましたが、固定負債のその他および未払法人税等が増加したためであります。

#### （純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5,004百万円増加し、76,819百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

自己資本比率は前連結会計年度末と同じく62.6%となっております。

### （3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ476百万円減少し、10,126百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、6,303百万円（前年同期は2,485百万円の増加）となりました。これは主に、棚卸資産の増加および仕入債務の減少がありましたが、税金等調整前当期純利益の計上によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、5,752百万円（前年同期は6,124百万円の減少）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入がありましたが、関係会社株式および有形固定資産の取得によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、818百万円（前年同期は2,956百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入金の実行がありましたが、長期借入金の返済および配当金の支払いによるものであります。

## （4）今後の見通し

当社グループは中期経営計画2025において、「スペシャリティファーマを基盤とするトータルヘルスケアカンパニー」を目指し、最終年度である2025年度に売上高700億円、営業利益率8%、ROE8%の目標を達成いたしました。産婦人科領域を中心とした事業基盤の強化や主力製品の伸長、海外展開の進展などを通じて、収益基盤の拡充とともに次なる成長に向けた基盤を構築しております。

以上に続き、当社グループでは長期ビジョン「ASKA VISION 2035」を策定するとともに、2026年度を初年度とする中期経営計画2028を開始いたしました。国内医療用医薬品事業を基盤に、創薬、グローバル、アニマルヘルス、検査・アROUNDビルの各事業の成長を推進するとともに、事業ポートフォリオの拡充を図り、持続的な収益拡大と企業価値の向上を目指してまいります。

## 2027年3月期の通期連結業績予想について

（単位：百万円）

	当連結会計年度 (2026年3月期)	翌連結会計年度 (2027年3月期)	増減額	増減率 (%)
売上高	71,127	73,000	1,872	2.6%
営業利益	5,834	6,200	365	6.3%
経常利益	5,665	6,100	434	7.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,424	4,800	△624	△11.5%

当社グループで事業の主力となる医療用医薬品事業においては、毎年薬価改定等の影響はあるものの、今回の薬価改定における最低薬価の引き上げ、産婦人科領域製品等の伸長、海外事業等が業績に寄与するものと見込んでおります。連結売上高は73,000百万円（前年同期比2.6%増）を見込んでおります。利益面につきましては、売上高の増加等を受けて営業利益は6,200百万円（同6.3%増）、経常利益は6,100百万円（同7.7%増）と増益を見込んでおります。親会社株主に帰属する当期純利益は4,800百万円（同11.5%減）と想定しております。

## （5）利益配分に関する基本的方針および当期・次期の配当

当社は、長期的な事業展開に備えた資金確保等を総合的に勘案しつつ、安定的な配当を継続することを基本方針としております。また内部留保につきましては、研究開発投資、生産設備投資等、将来の持続的成長に向けた企業体質の強化のために活用しております。一方で収益に応じた適正な利益還元を行うことも、経営の重要課題であると認識しており、2023年11月に公表した「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」に基づき、配当については業績連動の利益配分方式に移行し、連結配当性向30%を目安とすることとしております。

上記の方針に基づき、直近の業績推移を踏まえ、当期の期末配当金につきましては1株につき33円として、すでに実施いたしました中間配当金27円と合わせて年間配当金は1株あたり60円とさせていただきます。

また、次期の利益還元につきましては、2026年5月11日に開示しました「剰余金の配当（増配）および配当方針の変更に関するお知らせ」に基づき、2027年3月期より総還元性向40%を目安とすることに加えて、累進配当（特別配当を除く）を導入したことを踏まえ、2027年3月期の年間配当金として、1株あたり65円（中間配当32円、期末配当33円）を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。



## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,603	10,126
売掛金	15,184	16,022
有価証券	555	893
商品及び製品	15,041	14,743
仕掛品	544	416
原材料及び貯蔵品	11,032	14,022
その他	5,423	5,265
貸倒引当金	△94	△67
流動資産合計	58,290	61,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,708	12,654
減価償却累計額	△6,610	△6,978
建物及び構築物（純額）	5,097	5,676
機械装置及び運搬具	17,168	18,040
減価償却累計額	△15,047	△15,612
機械装置及び運搬具（純額）	2,121	2,428
土地	4,255	4,186
建設仮勘定	6,508	6,078
その他	3,941	4,542
減価償却累計額	△3,258	△3,667
その他（純額）	683	874
有形固定資産合計	18,667	19,244
無形固定資産		
のれん	2,611	2,354
その他	7,602	6,514
無形固定資産合計	10,213	8,869
投資その他の資産		
投資有価証券	12,666	17,299
繰延税金資産	2,312	2,085
退職給付に係る資産	—	647
その他	2,162	2,827
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	17,123	22,841
固定資産合計	46,004	50,955
資産合計	104,295	112,379

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,411	5,288
電子記録債務	2,735	2,270
短期借入金	2,521	1,707
1年内返済予定の長期借入金	1,940	1,562
未払金	6,194	6,446
未払法人税等	173	1,574
賞与引当金	1,210	1,250
役員賞与引当金	73	66
その他	1,617	2,124
流動負債合計	22,879	22,291
固定負債		
長期借入金	6,441	8,165
退職給付に係る負債	206	23
その他	2,952	5,080
固定負債合計	9,601	13,268
負債合計	32,480	35,559
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	—	31
利益剰余金	59,545	63,352
自己株式	△704	△658
株主資本合計	60,039	63,923
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,853	5,646
為替換算調整勘定	—	△292
退職給付に係る調整累計額	417	1,083
その他の包括利益累計額合計	5,271	6,437
非支配株主持分	6,504	6,459
純資産合計	71,814	76,819
負債純資産合計	104,295	112,379

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	64,139	71,127
売上原価	32,803	36,982
売上総利益	31,335	34,145
販売費及び一般管理費	26,003	28,311
営業利益	5,331	5,834
営業外収益		
受取利息	6	52
受取配当金	286	339
不動産賃貸料	38	157
その他	66	191
営業外収益合計	398	740
営業外費用		
支払利息	51	222
持分法による投資損失	53	293
為替差損	123	161
その他	394	231
営業外費用合計	622	908
経常利益	5,107	5,665
特別利益		
子会社化関連損益	1,257	—
投資有価証券売却益	127	1,474
その他	—	96
特別利益合計	1,384	1,570
特別損失		
減損損失	300	—
投資有価証券評価損	—	244
特別損失合計	300	244
税金等調整前当期純利益	6,192	6,991
法人税、住民税及び事業税	750	1,887
法人税等調整額	341	△521
法人税等合計	1,091	1,366
当期純利益	5,101	5,625
非支配株主に帰属する当期純利益	—	200
親会社株主に帰属する当期純利益	5,101	5,424

## (連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	5,101	5,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60	787
退職給付に係る調整額	△167	665
持分法適用会社に対する持分相当額	228	△54
為替換算調整勘定	-	△448
その他の包括利益合計	121	950
包括利益	5,222	6,575
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	5,222	6,590
非支配株主に係る包括利益	-	△14

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,197	1,848	56,372	△3,287	56,130
当期変動額					
剰余金の配当			△1,275		△1,275
親会社株主に帰属する当期純利益			5,101		5,101
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		35		48	84
自己株式の消却		△2,535		2,535	—
利益剰余金から資本剰余金への振替		651	△651		—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	△1,848	3,173	2,583	3,908
当期末残高	1,197	—	59,545	△704	60,039

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	4,790	424	584	5,799	—	61,930
当期変動額						
剰余金の配当						△1,275
親会社株主に帰属する当期純利益						5,101
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						84
自己株式の消却						—
利益剰余金から資本剰余金への振替						—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	62	△424	△167	△528	6,504	5,975
当期変動額合計	62	△424	△167	△528	6,504	9,884
当期末残高	4,853	—	417	5,271	6,504	71,814

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,197	－	59,545	△704	60,039
当期変動額					
剰余金の配当			△1,617		△1,617
親会社株主に帰属する当期純利益			5,424		5,424
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		31		46	77
自己株式の消却					－
利益剰余金から資本剰余金への振替					－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	31	3,807	45	3,883
当期末残高	1,197	31	63,352	△658	63,923

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	4,853	－	417	5,271	6,504	71,814
当期変動額						
剰余金の配当						△1,617
親会社株主に帰属する当期純利益						5,424
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						77
自己株式の消却						－
利益剰余金から資本剰余金への振替						－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	792	△292	665	1,165	△44	1,121
当期変動額合計	792	△292	665	1,165	△44	5,004
当期末残高	5,646	△292	1,083	6,437	6,459	76,819

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	6,192	6,991
減価償却費	2,247	2,917
のれん償却額	—	168
減損損失	300	—
退職給付に係る資産負債の増減額	231	△164
受取利息及び受取配当金	△293	△391
支払利息	51	222
為替差損益（△は益）	97	189
持分法による投資損益（△は益）	53	293
有形固定資産除売却損益（△は益）	0	△90
投資有価証券評価損益（△は益）	—	244
投資有価証券売却損益（△は益）	△127	△1,474
売上債権の増減額（△は増加）	1,203	△867
棚卸資産の増減額（△は増加）	△2,675	△2,684
仕入債務の増減額（△は減少）	339	△1,539
子会社化関連損益（△は益）	△1,257	—
その他	△180	1,562
小計	6,183	5,378
利息及び配当金の受取額	379	391
利息の支払額	△51	△222
法人税等の支払額	△4,026	756
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,485</b>	<b>6,303</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	500	536
有価証券の取得による支出	—	△894
有形固定資産の取得による支出	△2,960	△2,549
有形固定資産の売却による収入	0	166
無形固定資産の取得による支出	△602	△325
投資有価証券の売却による収入	252	2,074
関係会社株式の取得による支出	—	△3,908
関係会社株式の売却による収入	—	47
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,189	—
その他	△1,125	△901
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△6,124</b>	<b>△5,752</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	3,000	3,500
長期借入金の返済による支出	△4,680	△1,937
短期借入金の純増減額（△は減少）	—	△738
自己株式の純増減額（△は増加）	△0	△0
配当金の支払額	△1,275	△1,617
その他	—	△24
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,956</b>	<b>△818</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△97	△208
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△6,692	△476
現金及び現金同等物の期首残高	16,738	10,603
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	556	—
現金及び現金同等物の期末残高	10,603	10,126

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結損益計算書に関する注記）

※ 子会社化関連損益

前連結会計年度における子会社化関連損益1,257百万円は、Ha Tay Pharmaceutical Joint Stock Companyの子会社化に伴い計上した段階取得に係る利益13,741百万円および減損損失12,483百万円であります。

（企業結合等に関する注記）

企業結合に係る暫定的な会計処理の確定

2024年12月31日に行われたHa Tay Pharmaceutical Joint Stock Companyとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第3四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当連結会計年度の連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額4,361百万円は、会計処理の確定により1,749百万円減少し、2,611百万円となっております。また、前連結会計年度末の流動資産のその他が39百万円、有形固定資産が42百万円それぞれ減少し、商品及び製品が283百万円、無形固定資産のその他が4,970百万円、投資有価証券が338百万円、固定負債のその他が1,141百万円、非支配株主持分が2,618百万円それぞれ増加しております。



(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、医薬品等の製造・販売および輸出入等を中心に事業を展開しており、「医薬品事業」、「アニマルヘルス事業」および「海外事業」の3つを報告セグメントとしております。

「医薬品事業」は、主に医療用医薬品を製造・販売しております。

「アニマルヘルス事業」は、主に動物用医薬品、飼料添加物等の製品を製造・販売しております。

「海外事業」は、主に海外で医療用医薬品を製造・販売しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの追加)

前連結会計年度において、Ha Tay Pharmaceutical Joint Stock Companyを連結子会社化したことに伴い、報告セグメント「海外事業」を新たに追加しております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部利益および振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 4. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	医薬品事業	アニマル ヘルス事業	海外事業				
売上高							
外部顧客への売上高	56,655	7,246	—	237	64,139	—	64,139
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	88	88	△88	—
計	56,655	7,246	—	325	64,227	△88	64,139
セグメント利益	6,349	300	—	2	6,652	△1,321	5,331
セグメント資産	49,554	4,174	18,638	51	72,417	31,878	104,295
その他の項目							
減価償却費	1,693	3	—	—	1,696	192	1,889

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

## 2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△1,321百万円は、各事業セグメントに配分していない

  全社費用であり、主に持株会社である親会社に係る費用であります。

(2) セグメント資産の調整額31,878百万円は、各事業セグメントに配分していない全社資産であり、主

  に事業セグメントに帰属しない当社の金融資産（現金及び預金、投資有価証券）および管理部門に係る資産であります。

(3) 減価償却費の調整額192百万円は、各事業セグメントに配分していない減価償却費であります。

## 3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 4. (企業結合等関係)に記載のとおり、当連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の

  確定を行っており、前連結会計年度のセグメント情報については、暫定的な会計処理の確定による

  取得原価の当初配分額の重要な見直しは反映された後の金額を記載しております。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	医薬品事業	アニマル ヘルス事業	海外事業				
売上高							
外部顧客への売上高	58,927	7,334	4,640	225	71,127	—	71,127
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	81	81	△81	—
計	58,927	7,334	4,640	306	71,208	△81	71,127
セグメント利益又は 損失(△)	7,121	344	108	△13	7,560	△1,726	5,834
セグメント資産	49,098	3,933	16,979	58	70,070	42,309	112,379
その他の項目							
減価償却費	1,993	3	203	—	2,199	246	2,446

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,726百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に持株会社である親会社に係る費用であります。

(2) セグメント資産の調整額42,309百万円は、各事業セグメントに配分していない全社資産であり、主に事業セグメントに帰属しない当社の金融資産（現金及び預金、投資有価証券）および管理部門に係る資産であります。

(3) 減価償却費の調整額246百万円は、各事業セグメントに配分していない減価償却費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として、同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

（単位：百万円）

日本	ベトナム	合計
12,658	6,051	18,709

3. 主要な顧客ごとの情報

（単位：百万円）

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
武田薬品工業㈱	55,485	医薬品事業

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として、同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	ベトナム	合計
13,255	5,989	19,244

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
武田薬品工業㈱	57,155	医薬品事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	医薬品事業	アニマルヘルス事業	海外事業	その他	合計	全社・消去	連結損益計算書計上額
減損損失	300	—	12,483	—	12,783	—	12,783

(注) 海外事業の減損損失は、連結損益計算書上、子会社化関連損益に含めて表示しております。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	医薬品事業	アニマルヘルス事業	海外事業	その他	合計	全社・消去	連結財務諸表計上額
当期償却額	—	—	—	—	—	—	—
当期末残高	—	—	2,611	—	2,611	—	2,611

(注) (企業結合等関係)に記載のとおり、当連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度の報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映しております。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：百万円)

	医薬品事業	アニマルヘルス事業	海外事業	その他	合計	全社・消去	連結財務諸表計上額
当期償却額	—	—	168	—	168	—	168
当期末残高	—	—	2,354	—	2,354	—	2,354

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	2,302.61円	2,477.81円
1株当たり当期純利益	179.95円	191.12円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	5,101	5,424
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	5,101	5,424
期中平均株式数（千株）	28,347	28,383

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

4. 補足情報

（1）事業会社の主力品の売上高

主 力 品 の 売 上 高  
（ 2 0 2 6 年 3 月 期 実 績 ）

あすか製薬株式会社

（単位：百万円）

品 目 名	前 期	当 期	対前年増減率 (%)	次 期
	2025年3月期	2026年3月期		2027年3月期
	年間実績	年間実績		年間見込
子宮筋腫・子宮内膜症治療剤 レルミナ	10,531	11,173	6.1	11,340
甲状腺ホルモン剤 チラーゼン	8,113	8,775	8.2	9,082
月経困難症治療剤 ドロエチ	7,502	8,312	10.8	7,678
高血圧症治療剤 カンデサルタン※	8,545	7,884	△ 7.7	7,213
難吸収性リファマイシン系抗菌薬 リフキシマ	6,455	7,883	22.1	8,023
LH-RH誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤 リュープロレリン	4,003	3,880	△ 3.1	5,596
月経困難症治療剤 フリウェル	3,149	2,973	△ 5.6	2,586
黄体ホルモン製剤 ルテウム	2,349	2,270	△ 3.4	2,197
抗甲状腺剤 メルカゾール	1,567	1,654	5.5	1,745
高血圧症治療剤 アムロジピン	797	791	△ 0.7	744

※ カンデサルタン配合剤を含む

あすかアニマルヘルス株式会社

（単位：百万円）

事 業 分 野 名	前 期	当 期	対前年増減率 (%)	次 期
	2025年3月期	2026年3月期		2027年3月期
	年間実績	年間実績		年間見込
飼料添加物、混合飼料、飼料原料	4,584	4,513	△ 1.5	4,469
動物用医薬品	2,601	2,640	1.5	2,827

## （2）臨床開発の状況

## 臨床開発状況

（2026年5月現在）

2026年5月11日

あすか製薬株式会社

区 分	(開発番号)	一 般 名	領 域・効 能	備 考
PhaseⅢ	(AKP-022)	レルゴリクス配合剤	子宮筋腫	武田薬品工業㈱より導入
PhaseⅢ	(AKP-022)	レルゴリクス配合剤	子宮内膜症	武田薬品工業㈱より導入
検証的治験	(MCN-009)	治療用アプリ ※	過敏性腸症候群(IBS)	㈱MICINとの共同開発
PhaseⅡ	(AKP-009)	ルダテロン酢酸エステル	前立腺肥大症	自社創製
PhaseⅠ/Ⅱ	(LPRI-CF113)	ドロスピレノン	月経困難症	Insud Pharma(スペイン)より導入
PhaseⅠ	(AKP-021)	mPGES-1阻害剤	—	自社創製

※ 薬事上の一般的名称は新設予定のため未定であります。

## (3) [連結] 設備投資、減価償却費、研究開発費

## 1. 設備投資

	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
通 期	2,700 百万円	2,379 百万円	(予) <b>1,624</b> 百万円

## 2. 減価償却費

	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
通 期	2,247 百万円	2,917 百万円	(予) <b>3,071</b> 百万円

## 3. 研究開発費

	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
通 期	7,031 百万円	7,060 百万円	(予) <b>8,246</b> 百万円